

**閱 覧 用**

**平成28年度「市民と議会の懇談会」  
質問等への回答について**

**境港市議会**

## 「市民と議会の懇談会」の回答について

このたびは、「市民と議会の懇談会」にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

各会場でいただきましたご質問やご意見について、議会改革推進特別委員会で整理し、一覧表にまとめて全議員に配付いたしました。

その中で、議会において調査すべきものや検討すべきものを抽出し、所管する各委員会に振り分けて回答書を作成いたしました。

平成28年10月 境港市議会

### ■ 総務民教委員会に関わるテーマ

【質問】 <中央公民館（上道）>

地方交付税が、前年度と比較して4.5%減ということですが、これは毎年減っていくという国の政策なのですか。

【回答】

本市の当初予算の計上においては、基準財政収入額は地方消費税交付金等で収入が増えること、基準財政需要額は、今回から平成27年国調人口を使用することに伴い、減少することを踏まえ慎重に試算を行いました。

ご指摘のとおり、当初予算対比では前年度対比で△4.5%となっていますが、前年度は普通交付税の予算が20年ぶりに予算割れをしたことなどもあり、平成28年度当初予算は33.6億円と固く見込んでいます。決算は、35.2億円程度となる見込みであり、前年度との決算対比では、△2.6%（△0.1億円）となる予定です。

【質問】 <渡公民館>

境港市と似た環境の自治体を聞かせてください。

**【回答】**

類似団体とは、都市を人口規模や産業構造によって分類し、都市を比較する際に正確を期すために使用されています。

境港市はⅠ－Ⅰと分類されています。人口は50,000人未満、産業構造がⅡ次・Ⅲ次産業が95%未満、加えてⅢ次産業が55%以上を意味しています。鳥取県では倉吉市、島根県では益田市、大田市、江津市が同じ分類となっています。

**【質問】** <外江公民館>

私の町内にも中国の方、フィリピンの方など外国の方々が生活をしておられ、交通ルール、ゴミステーション移設の看板が読めないなど言葉の問題で困っている。行政に通訳をしてくれる窓口はないのか。

**【回答】**

市には、外国語全般について通訳や翻訳を実施する窓口はありませんが、中国語と韓国語については、市の国際交流員で対応可能です。境港市役所通商観光課経済交流係（直通47-1029）が窓口ですのでお問い合わせ下さい。

その他の言語については、市で直接対応出来ませんが、県や周辺自治体の国際交流員、鳥取県国際交流財団等の協力を得ることで対応可能な場合があります。

行政として地域住民にお知らせすべきことが、言語の問題で伝わっていないという状況がありましたら、市としても対応が必要と考えています。困りごとの内容によって対応は異なりますが、問題等が発生した際には、多文化共生担当である通商観光課に相談して下さい。

行政からのお知らせ等、市の方で外国語に翻訳した文書を書面で交付することも考えられますが、キーパーソン（例：技能実習生の受入企業の担当者等の支援者）がいる場合は、その方の協力を得て情報提供や意思疎通を行うことが効率的だと考えられます。

**【質問】** <境公民館>

今度の市民会館などの計画で駐車場は確保されるか。公民館等既存の公共施設も駐車場に困っている。対策は。

**【回答】**

市民会館の改修（美保飛行場周辺まちづくり計画 市民会館周辺エリア）の基本計画において、「既存の駐車場と職員駐車場を活用しながら、可能な限り駐車場を確保する」としてはいますが駐車場の不足が予想される為、市長に対し「駐車場の確保に努められたい」の申し入れを行い駐車場確保に努めています。

公民館等の既存の公共施設の駐車場の問題については、現況で施設・利用者ごとに周辺施設の駐車場や土地を借りるなどして対応しています。

担当課（生涯学習課）にご相談いただきたいと思います。

**【質問】** <老人福祉センター（余子）>

見守り隊などのボランティアの募集母体を明確にしてほしい。

**【回答】**

「子ども見守り隊」をはじめ、学校に関する地域ボランティアについては、生涯学習課の学校支援コーディネーターが募集や活動の調整、運営を担当しています。問い合わせやボランティア希望については、生涯学習課、学校、公民館となっています。今後も学校、公民館などと連携して、広報に努めていくとのことです。

**【質問】** <中央公民館（全市）>

義務教育での人事の基準はどうなっているか。子供達の人格形成に非常に大きな影響を与えることなので聞きたい。ある学校では専門の先生が何人もいる一方、ほかの種目は指導できないような先生が勉強しながら指導しているという実態がある。生徒の指導に人事問題は大切だが、公平な人事をやっていただきたい。

**【回答】**

鳥取県教育委員会では、学校の教育課程は学習指導要領の基準に基づき、定められた教科の時間数を教育免許を取得した者が授業を行います。また、教職員の人事が停滞しないように適正配置も定められています。教員の取得免許と直接は関係しない専門的な指導技能を持った教員がいることも事実です。ただし、そのことを理由に人事異動が行われることは、教育上適切でないと考えなければなりません。部活動の顧問については人事異動において考慮されていないとのことです。

## ■ 経済厚生委員会に関わるテーマ

### 【質問】 <中央公民館（上道）>

昨年の懇談会で議会が一番重視している課題はなにかと聞いたら、企業誘致だということ言われた。新しい企業誘致がこの1年間でどのくらいあったのかお聞かせください。

### 【回答】

平成23年度から27年度までの5年間に於いて市外からの新規企業立地は7社であり、市内在住者の新規常時雇用は40名です。これらに係る企業立地支援補助金・雇用推進奨励金等の総支援額は258,913,100円であります。

### 【質問】 <中央公民館（上道）>

待機高齢者で施設に入れられない方は、増えてきていますか。認定基準が変わってきて、入れなくなったりとかは。

### 【回答】

平成27年度の入所申込者数は、要介護1→1名、要介護2→4名、要介護3→28名、要介護4→33名、要介護5→25名、申請中→1名の合計92名のうち在宅10名、病院18名、療養型1名、施設15名、老健44名合計88名が入所・在宅介護サービスを受けています。また、要介護3～5の中重度対象者86名のうち82名がサービスを受けています。

### 【質問】 <渡公民館>

農業排水の側溝が3本くらいあり、生活排水も一緒に流しているが、勾配がゆるく流れないで悪臭が出る。対策をとっていただきたい。

### 【回答】

ご質問箇所の農業排水路は、農家の方が定期的に土砂の堆積した水路を清掃してきたが、近年では農家の高齢化や耕作放棄地の増加等により清掃困難となり、定期的に自治体が替わって清掃を行ってきたが、両側が耕作放棄地のため雑草が生い茂り水路に入ることができない状況のため堆積土も厚くたまっており、大雨時に氾濫したとお聞きしている。また、水路の老朽化のため一部底が低くなって水が溜まり異臭がしているとの苦情も聞いているので、水路の清掃も含め現状の調査を行い、今後どのような改善策があるのか自治会や関係者と共に考えていきたいとのこと。

**【質問】** <中浜公民館>

水木しげるロードの宣伝看板を国道431空港入口と市役所前など多く設置すべき。

企業による寄付を募ってトイレとその案内看板も多数設置を。

空港入口の公園のトイレは程度が悪い。リフォームを。

**【回答】**

中浜緑地トイレについて、芝生広場側のトイレについては、建物外装に経年による汚れの付着や雨どいのひび割れがあり、内装には天井の塗装剥がれなどがありますが、便器等の設備や臭気については問題がなく、今後、外装の洗浄や天井の塗装などのリフォームについて検討するとのことでした。

池側のトイレについては、芝生広場側のトイレより建築年度も新しく、劣化もそれほど進んでいないため、当面改修等については考えてないとのことでした。

また水木しげるロードへの誘導看板については、国道431号線沿いに5カ所設置されており、加えて佐斐神町には鬼太郎が描かれた大型の「歓迎看板」を設置しているため、市としては現状でも誘導は可能と考えているようです。

水木しげるロードのトイレについて、ロード沿いの店舗が、店舗内のトイレを開放する取り組みが行われておりますので、現時点では公共トイレを増やす予定はなく、トイレを案内する看板については、水木しげるロードリニューアル事業の中で検討するとのことでした。

**【質問】** <中浜公民館>

市に総合病院は済生会しかないわけで、市民の命を守る拠点病院だ。以前から比べると患者も少なくなり、受診科も少なくなり、このまま済生会がなくならないかと心配している。議会はどう考えているか。

**【回答】**

済生会病院によれば、平成27年度は、入院病床から老健病床に転換したことから利用効率が図られ、約10年ぶりの大幅黒字となったとのことでした。ただし、今後も医師不足等の問題から総合病院としてのすべてのニーズに応えるのは難しいと思われ、鳥大病院の急性期・高度医療とその後の回復期の入院治療、さらには在宅看護といった連携並びに機能分担を強化する方向性は避けられないという見解です。常勤医師も最低であった平成19年の21名から現在28名まで増員され、医師確保にも努力されています。

議会としても将来的には、本市の防災拠点病院としての役割もあることから、施設の老朽化、設備の不足等の問題等、済生会境港病院のあり方について幅広く検討すべきと思われまます。

**【質問】** <外江公民館>

西工業団地に入る道路付近では24時間大型トラック、トレーラーが荷物を積み通る。近くの人には寝てもいられないなど、地響きは県も確認している。側溝など含めて自治会要望していきたい。

**【回答】**

道路舗装補修工事については下水道工事と併せて、平成30年度以降に行う予定であり、側溝や、道路の補修については自治会等からの要望により危険性の高い路線や箇所から、自治会や関係者と協議しながら修繕を進めるとのことです。

**【質問】** <老人福祉センター（余子）>

休日保育に来る子ども達にとって、毎日先生が変わるよりきちんと担当の先生がいるほうがいいのではないか。

**【回答】**

休日保育の担当の先生がいることは確かに望ましいと考えます。しかし利用者の利用頻度はまちまちであり、直接的な保育を行っているわけではないものの「ひまわり」の施設職員は常時いる状況です。また、利用者からの要望も聞かれていないとのことですが、ご意見は担当課に伝えました。

**【質問】** <中央公民館（全市）>

農作物を食い荒らしているキジを弓ヶ浜半島から駆除してほしい。北栄町のねばりっこも被害では鳥取県は地区と一緒に柵を設けているが、弓浜半島では自家菜園など小規模な所が多い。沖縄ではキジの卵をJAが買い取っている。個体数を減らすひとつの手段。議会でも協議してもらって有効な対策をお願いしたい。

**【回答】**

有害鳥獣の対策としては、現在は、中海干拓地内で、H27年度より中海干拓地営農組合が鳥取県猟友会境港支部に委託し、カラス類・キジの捕獲を実施していますが、既耕地では、猟銃による捕獲が困難なことから、農家個人による対策をお願いしているところです。

また、ご指摘の沖縄県での対策ですが、石垣市で、卵の買取（捕獲奨励金）については、H26年度に実施し、買取単価は200円/個（県1/2、市1/2）とのことでした。ただし、キジの場合、卵を捕獲したり潰してしまっても、別の場所に同数の卵を産むことから個体数の減少につながらないとのこと、現在は卵捕獲の補助は廃止し、成獣の捕獲に力を入れ、箱ワナによる捕獲や、被害防止に畑の周りをネットで覆うことをしているとのことでした。

また、別の事例として、鳥取県北栄町では被害に困っている農家と県が一緒になって被害対策を考え、安価でできる対策として、柵で囲うという手法をとっている。県、町からは、補助金という形ではなく、情報提供、設置の手伝いという形で支援しています。

今後市としては、キジによる農作物への被害状況を調査・研究し、他市町村の事例も参考にしながら有効な対策について検討していきたいと考えていますので、議会としても引き続き有効な対策等について先進地の事例研究を続け、有効と思われるものについては市のほうに提案していきたいと考えています。

**【質問】** <中央公民館（全市）>

生活道路だが、交通量多くなっている。四つ角の雑草で左右の確認も困難。一番危ないのはJRの踏切のところ。JRの管轄なので市は要望は出すけれどもというが、生命に危険を伴うような場所はJRだろうと私有地だろうと、指導してほしい。

これは市民全体に係ることだ、ぜひ整備してほしい。

**【回答】**

JR敷地内の除草についてJRに対処を求めたところ、ご指摘のあった中浜駅から高松駅間は9月26日に処理することになりました。議会としてはJR境線の全区間について引き続き適切な管理を要望していきたいと考えます。

交差点の見通しを妨げる草木については、原則所有者の対処すべき問題ですが、市も道路管理者として特に危険なところについては、適時処理をしており、ご指摘の箇所もすでに対処されています。

議会としては、繁茂する草木の土地所有者へ対する啓発、繁茂前の対処も含め、市による一層の点検・管理の強化など要請してまいります。市もご連絡をいただければ対応するとしていきますので、よろしく申し上げます。



## ■ 議会改革推進特別委員会に関わるテーマ

### 【質問】 <中央公民館（上道）>

政務活動費が上がるのは結構ですが、研修報告がどういう形でされているのか分からない。政務活動費を利用してその成果が出たというようなことがあれば教えていただきたい。

### 【回答】

委員会視察や政務活動費による研修等は、議員の政策能力向上や一般質問等に活かされ、境港の市政改革や市民要求実現へ多くの成果をあげています。いくつかの実例を紹介しておきます。

2013年、常任委員会が視察した福岡県大木町の可燃ゴミを半減させたとりくみは、会派を超えた複数の議員がその後の本会議で、紙おむつの資源化や生ゴミの分別、回収ボックス等、具体的提案や市長のかまえを問うのに活かされ、その後の可燃ゴミの減量化に画期をつくりました。

古くは、「50億円の節約になった」とされた境港市公共下水道事業の見直し（2003年度）は、政務調査に派遣された議員による2度の大阪市下水道局での研修、それを活かした境港市公共下水道全体計画の分析なしにはできなかった仕事でした。

小中学校校庭の芝生化も議員による先進地視察、提案から始まった事業でしたし、地域包括ケアシステムについて集中的に研修してきた会派は、その後の議会で境港市の体制の構築について150項目を超える質問をし、本市の地域包括ケア体制の効果的な充実へつながり、妊娠期から就学前までの子育て世代を包括的に支援する境港市版ネウボラを提案して、「子育て世代包括支援センター」の開設となっています。

また、別な会派は公共施設の「縮充」をテーマに、先進地視察を行い、議会でも幾度となく取り上げ、人口減少社会に向かう重要な市政の課題として当局と論戦、提言を行っています。